

市議会だより No.61 令和元年5月1日



きたあきた

3月定例会などの内容をお伝えします。

3月定例会の審議	P 2
議案等表決状況／賛成反対討論	P 3
常任委員会審査報告等	P 4～5
一般質問	P 6～9
臨時会／議会全員協議会／人事案件	P 10
議会中継閲覧の仕方など	P 11
世界から見た「きたあきた」	P 12



春が来た
～北欧の杜公園～

平成31年度 一般会計当初予算 239億7149万8千円



平成31年度当初予算の主要事業

主な事業	予算額
し尿処理施設建設事業	1,080,999千円
鷹巣中学校大規模改修事業	419,638千円
宮前町庁舎大規模改修事業	158,058千円
戸籍等コンビニ交付サービス導入事業	27,896千円
森林環境譲与税事業	15,758千円
市ホームページ更新(リニューアル)事業	11,890千円
多様な農業経営応援補助金	5,000千円
移住・就業支援事業費補助金	4,000千円
キャラクターを活用したプロモーション事業	19,476千円
地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業	60,131千円

このほか、介護保険特別会計には、地域包括支援センターの拡充配置に係る経費（北部・中部・南部に配置し、総合的にきめ細かく対応できる相談体制の整備）を計上。阿仁診療所特別会計には阿仁診療所改築事業に係る経費を計上。水道事業会計には新鷹巣浄水場建設事業に係る経費を計上。

平成31年北秋田市議会3月定例会は、2月28日（木）から3月14日（木）までの15日間の会期で行われました。3月定例会では、条例案15件、予算案39件、その他議案等3件、陳情4件、最終日に提案された人事案件などを含めた70件が審議され、陳情2件を除く68件がそれぞれ可決、採択されました。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	採決結果	新創会					みらい				緑風・公明			共産党議員団		無党派					
		佐藤重光	虻川敬	杉渕一弘	佐藤文信	松尾秀一	松橋隆	佐藤光子	大森光信	中嶋洋子	黒澤芳彦	堀部壽	小笠原寿	武田浩人	関口正則	板垣淳	三浦倫美	久留嶋範子	山田博康	福岡由巳	長崎克彦
【平成31年3月定例会／平成31年3月14日採決】																					
議案第2号 消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
議案第17号 平成31年度北秋田市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
議案第20号 平成31年度北秋田市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号 平成31年度北秋田市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
陳情第11号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○

※全会一致の可決、採択については除いています。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、議長は採決には加わりません。

賛成・反対討論

▼議案第2号

反対討論 板垣 淳 議員

市には納税義務がないので市民から取った消費税分は国に納付せず市のふところに入る。これはおかしい。

反対討論 福岡 由巳 議員

所得の少ない人ほど負担が重い消費税10%への増税は反対。また条例第14条墓園使用料は余りに不公平。

▼議案第17号

反対討論 板垣 淳 議員

借金を増やし、ムダ遣いのキティに大金をかける一方、くらしの予算である民生費は2億減。認められない。

賛成討論 武田 浩人 議員

新年度予算は地方創生実現のため戦略的な予算である。交流人口増への施策はスピード感を持って取り組みを。

※発言順に掲載しています

反対討論 福岡 由巳 議員

市長が掲げる市民ファーストが真の市民のいのちとくらしを守る予算となっていない部分が多いことから反対。

賛成討論 佐藤 光子 議員

財政の健全化を図りつつもまち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度にふさわしい前向きな予算である。

賛成討論 松橋 隆 議員

喫緊の課題である人口減対応、移住定住、日本三大樹水のブランド化、森林環境譲与税、時代に即応した予算と認識する。

反対討論 福岡 由巳 議員

前年度から介護保険料を大幅に引き上げながら、利用者に直接関わる介護給付費の大幅な減額は認められない。

▼議案第37号

反対討論 久留嶋範子 議員

北秋田が医師充足率全国最下位。医師を確保し、市の負担を減らす対策が不十分。新たな取り組みが必要である。

反対討論 福岡 由巳 議員

数年続いている約7億5千万円の一般会計からの繰入金が多過ぎる。基本協定改正と常勤医師増員を求める。

▼陳情第11号

賛成討論 三浦 倫美 議員

所得の少ない人ほど負担が重く貧困と格差を拡大し、地域経済を疲弊させる消費税10%への増税は中止すべき。

賛成討論 福岡 由巳 議員

政府は財政が大変と言いつつ消費税を増税してきたがよくなる。大企業や大金持ちから応分の負担を求めるべき。

総務文教常任委員会

ハローキティを活用した事業

当委員会に付託された案件は、条例案9件、予算案17件、陳情2件の計28件。

平成31年度北秋田市一般会計予算について総務部関係では、キャラクターを活用したプロモーション事業について「外向きのPRより、内向きの事業が多いように感じるが、事業目的はどこに重点を置いているのか」との質疑があり「インバウンドあるいは観光振興を最大の目的としているが、全体的な市のプロモーションであるため、地元のオリジナルのハローキティであるということとを市民と共有していきたい」との答弁がありました。

郷土資料集で地域に理解を

教育委員会関係では委員から「郷土資料集は、こういったものを作成するのか」との質疑があり「ふるさと北秋田について、子供達が勉強するきっかけとなり、北秋田市の

ことが大体わかるというものを目指している」との答弁がありました。採決するにあたり、討論があり、反対の立場から「キャラクターを活用したプロモーション事業は、今年度、多額の予算をかけた実施されたが、成果の検証は難しく、市民から賛否両論ある。市民の暮らしや福祉にもっと予算をかけるべき」とありました。また、賛成の立場から「移住定住策、プロモーション事業、教育環境の整備、業務効率化など前向きな予算となっている」と討論がありました。以上の審査を踏まえ、賛成多数で可決すべきとし、キャラクターを活用したプロモーション事業関連予算については「具体的な目的・実施計画・成果指標を設定した上で事業遂行すべき」と付帯意見を文書で附しました。その他の予算案、条例案は可決すべきものとし、陳情は不採択すべきと決しました。

(委員長 大森 光信)

コンビニで各種証明書取得可能に

当委員会に付託された案件は、条例案4件、予算案17件、陳情1件の計22件。

北秋田市印鑑条例の一部を改正する条例について、コンビニ証明の対象と利用時間について質疑があり「住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、戸籍、戸籍の附票、所得、課税証明書が対象で、利用は12月29日から1月3日を除く、午前6時30分から午後11時を予定しています」との答弁がありました。また、消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部を改正する条例について、機能別消防団員の新設内容に質疑があり「任務は重機による補助作業には建設業界や市建設課作業員を避難誘導、安否確認等の情報収集には市役所職員、指揮隊の後方支援には消防団員のOBを想定。公募ではなく個々に打診をして30名を確保します」との答弁がありました。

市民福祉常任委員会

健康ポイントで明るく楽しい未来

平成31年度一般会計予算では、健康ポイント事業内容について質疑があり「4月号の広報等でPRする予定。4つについて質疑があり①健診を受け写し、住民票記載事項証明書、②がん検診の受診、③印鑑登録証明書、戸籍、戸籍市健康イベントへの参加、④の附票、所得、課税証明書が自己目標の実行を行い、その対象で、利用は12月29日から1月3日を除く、午前6時30分から午後11時を予定しています」との答弁がありました。また、消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部を改正する条例について、機能別消防団員の新設内容に質疑があり「任務は重機による補助作業には建設業界や市建設課作業員を避難誘導、安否確認等の情報収集には市役所職員、指揮隊の後方支援には消防団員のOBを想定。公募ではなく個々に打診をして30名を確保します」との答弁がありました。

(委員長 佐藤 文信)



3つの常任委員会

産業建設常任委員会

森林経営管理基金条例の制定

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案9件、単行議案3件、陳情1件の計15件。

北秋田市森林経営管理基金条例の制定について、委員から「具体的に市がやることは何か」との質疑があり「森林所有者に意向調査をし、所有者自らが経営管理できない森林を集積し、それを意欲と能力のある森林経営者につなぐこと、経済的に成り立たない森林については、市町村が自ら管理運営を行うものである」との答弁があり、条例2件については全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

中央公園に24時間利用の水洗トイレ

平成31年度北秋田市一般会計予算の都市計画課関係では「中央公園の既存のトイレを解体し、24時間利用できる水洗トイレを建設することのことだが防犯カメラの設置等の対

策は検討しているのか」との質疑があり「検討はしているが、今現在、付けるという結論には達していない」との答弁がありました。採決にあたり「ハローキティを活用した事業に対する無駄遣いをやめて市民の安心・安全、経済を最優先にした予算にするべき」との反対討論がありました。

また、賛成の立場から「ハローキティを活用した事業について、何の事業でも1年や2年で結果が出るはずがなく、3年、4年経って結果が出てくるもの。様子を見ながら応援するべき」との賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきと決しました。その他の議案については、全て全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

陳情1件については、全会一致で採択すべきと決し、意見書を提出することといたしました。

(委員長 堀部 壽)



皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	農民運動秋田県連合 委員長 鈴木 万喜夫	不採択	
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一 秋田県労働組合総連合 議長 三浦 宣人	採 択	提 出
消費税の増税中止を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一 秋田県労働組合総連合 議長 三浦 宣人	みなし 不採択	
幼児教育・保育の無償化、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を国に求める陳情書	秋田ほいくを考える会 代表 伊藤 博和 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	採 択	提 出

森吉山一帯を国定公園に

虻川 敬 (新創会)



Q 森吉山一帯を国定公園に推奨するよう市が中心となり働きかけをしてはどうか。

A 平成29年に森吉山国定公園昇格運動連絡協議会発足に向けた設立趣意書が当市に提出され、平成30年には有志による森吉山県立自然公園国立・国定公園昇格運動連絡協議会設立準備会が設立されています。まずは森吉山の素晴らしさや希少性が国民の財産として広く認識されるためにも、昇格運動の方向性について市民レベルでの合意形成が図られる必要があるものと認識しています。連絡協議会を重ね、官民一体となった地元の熱意の醸成に繋がる事を期待しています。

Q 森吉山周辺の観光スポットをどう活かすか。

A 平成25年度からは森吉山阿仁スキー場の整備やビジターセンターを建設しました。観光スポットの多くが県立自然公園内にあることから、県による自然公園施設の整備に伴い、その経費の一部を市が負担する県営事業として進めており、安の滝歩道の改修は、平成29年度から進めていますし、平成30年度には阿仁側避難小屋のトイ



魅力を秘めた森吉山

レ増築を、平成31年度からは小又峡歩道の橋梁改修事業を予定しています。観光スポットを活かすためにはアクセスの整備が不可欠であり、森吉山周遊乗合タクシー等への支援を継続しながらより使い勝手の良いアクセスとなるよう検討を進めていきます。

Q 観光拠点として必須の宿泊施設の拡充整備が急務と考えるがどうか。

A 大規模宿泊施設の誘致により既存事業者の経営が圧迫される可能性が考えられる。まずは既存宿泊施設の年間稼働率を高めていくことが重要であると考えています。

ムダ遣いキティやめよ

板垣 淳 (共産党議員団)



Q ハローキティ事業に、市民から「税金のムダ遣いだ」「もっとほかにかけるところあるだろう」との声が上がっている。地方自治法は「住民の安全、健康および福祉を保持すること」が市の仕事だと定めている。ムダ遣いをやめて、予算は本来の行政の仕事に優先的に使うべき。

A さまざまな意見があることは承知している。ムダ遣いと言わないよう、PRに努め、交流人口の増加と市の知名度アップにつなげたい。

Q 市民に賛否のアンケートをとったらどうか。

A その考えはない。

Q コムコムねまぐる広場前に置いてある小さなキティ人形はいくらしたか。

A 200万円。

Q 高い、ムダ遣いだ、と思わないか。

A たしかに高いという印象は持つ。しかし世界中の子どもたちに夢と希望を与えるキャラクターが北秋田市にあることは大きな意義がある。

Q 2年で5000万円もかけるこの事業の目的は交流人口の増加

だというが、では1年やってどのくらい増えたか。

A その効果を数値でいうのは難しい。

Q 浜辺の歌音楽館について質問する。地域住民が知らないあいだにシンボルの存在の為三口ポットが撤去された。戻すべき。

A 戻す。

Q なぜこういうことが起こるかという、地元住民の意見を反映させる仕組みがないから。

A さまざまな機会に意見を聞くようにしたい。



製作費200万円と答弁があったキティ人形

小中学校再編・整備の課題は何か

久留嶋 範子 (共産党議員団)



Q 鷹巣中学校・鷹巣南中学校の統合に向けて、今後の課題は何か。
A 今年度は、統合準備委員会を発足し、7月と12月の2回開催した。来年度は鷹巣中大規模改修工事により、統合に向けた校舎等の準備を行う。今後検討の必要があるのは通学路の安全確保。学校や保護者、地域と相談しながら、安全に通学できる方策を検討したい。

Q 鷹巣中央小学校と鷹巣南小学校の統合に向けて、今後の課題は何か。
A 今年度は5月に統合準備委員会を設置して準備を進めていく。2つの学校が統合して新しい学校となるため、校名を決めたり校歌や校章を作ったりする必要がある。中学校よりも統合準備委員会の回数も多くなる。

Q 説明会などで出された意見・要望には十分対応できているのか。
A ①登下校の通学方法、安全面、②放課後児童クラブの設置、③閉校行事、④廃校舎の有効活用について。



統廃合となる鷹巣南中学校

なる。中央小児童は小ヶ田、川口が対象、他は集団登校となり、通学路の安全点検を進めていきたい。放課後児童クラブの設置は、旧童森寮を改築し活用する予定。統合による鷹巣中央小と鷹巣南小の空き校舎は耐震補強が施されていることから地域の方々とも協議しながら公共的な利活用を検討したい。

Q 文化財を継承し、地域が元気になるための方策は。「七日市の葛黒火まつりかまくら」を市指定文化財として位置づけられないか。
A 現在、指定候補の文化財は11件で、葛黒火まつりかまくらも候補として審議されている。

障がい福祉の拡充を

大森 光信 (みらい)



Q 現在、本市の障がい者は2566名、人口比約8%、市民12・5人に1人だが、現在の施策で不足している部分は、何と考えているか。

A 日中活動系サービスや、介護を行う家族などを支援するサービスが不足しており、対象者への適切な情報提供や個別支援の充実が課題であると認識している。

Q 市内の利用可能な施設は限られており、サービスが必要な方の受け入れが困難である。また、保護者の日常生活にも影響を与えていることについてどのように把握しているか。さらに、12月定例会で採択された「知的障がい児者、重症心身障がい児者の拡充を求める請願書」について、市はどのように受け止めているか。

A 保護者の方の心身の負担が大きく、日常生活を送る上での大きな難点である。請願書については、当市の福祉施策を一層充実させるものとして重く受け止めている。

Q 2020年度末までに整備される予定の地域生活支援拠点の整備については、
A 具体的な目的は「緊急時の迅速

速確実な相談支援の実施、短期入所等の活用」と「体験の機会を提供し、施設や親元からグループホームや一人暮らし等への生活の場の移行を支援する体制の整備」であり、まずは地域のニーズや既存のサービス状況を調査する。

Q 「障がい福祉に関するアンケート」の中で、障がいへの理解を求め意見が多かったが、地域社会や教育現場において、どのような啓蒙を行っているか。

A 当市では、障がい者差別解消法の周知を目的とした「心のバリアフリーハンドブック」作成・配布している。今後は、市内の各学校にも配布したい。



心のバリアフリーハンドブック

生ぬるい樹氷サミットへの対応

山田 博康 (無会派)



Q 市の有力な観光資源である樹氷を宣伝する絶好の機会である樹氷サミットが当地で開催されましたが、1年前に決まっていたのに市の積極的関わりが無く、業者に委託し関係者に案内が入ったのが開催日まで20日を切ったからというお粗末な対応でありました。蔵王、八甲田と国際的にも有名な地域の首長、関係業者が連携しての行事であり、開催地が当市であることは1年も前に決まっていたのですから観光客の誘致促進を積極的に活動するのが観光課の仕事であり、花や紅葉を求めて当市を訪ねてくれる来訪者に日本三大樹氷観光地として素晴らしい樹氷がゴンドラで下車後、すぐに見られる市独自のパンフレットを作成しPRをするべきではないか。

A 東北観光復興対策交付金の支援を活用し、インバウンドの推進による観光復興事業を対象として実施、委託業者も3市及び事業関係者による選定委員会です。10月末に契約締結後の対応となり、今後の課題として検討してまいります。

Q 合併前の阿仁町、大阿仁地区の生活文化の一部であった、マタギ文化を広く日本国内外にPRする日本遺産への登録を申請されていることはありがたいことですが、関係する資料で国の文化財の指定を受けているものが、300点近くあるようですが、その確認、保全等、市が積極的、速やかに対応しないと散逸することが考えられるが今後の行政としての具体的対応は。

A 2度目の申請であり確認作業を速やかに年度内には完了するよう進めていきます。精神的な面が選定の大きなポイントになるようですから、古老等関係者からの採話等も進めます。



国際樹氷サミット北秋田市

秋田県小災害支援事業の活用を

三浦 倫美 (共産党議員団)



Q 農業被害復旧支援について、国の制度に該当しない小災害支援事業として、当市でも県の制度を活用できるように検討していただけないか、私は平成30年9月定例会で質問しましたが、その後の検討の進捗状況は。

A 平成31年度より「北秋田市農業用施設小災害復旧支援事業」を新設します。この事業は「国による農地・農業用施設災害復旧事業」が復旧工事費用40万円以上となっていることから「秋田県小災害支援事業」を活用し、10万円以上40万円未満の被害箇所を早期に復旧させることを目的とし、より公共性が高く緊急性のある水路及び揚水機の復旧費用の3分の2を補助します。現在、要綱の作成を進めており、事業に係る費用は、平成31年度予算に計上しました。

Q 今後の災害復旧支援の拡充への見解は。

A この新たな事業の周知方法として、市の広報やホームページ、JAの広報紙の活用を検討中です。事業実施には「秋田県小災害支援事業」の発動が条件となりますので、県や土地改良区との連携に努め、事業が活用しやすいよう、実

施後も被災した農家の皆さんの意見を伺いながら事業の制度設計等を検証し、見直しや拡充等を行ってまいります。

Q 今後起こり得る災害の規模、時期、場所が想定外で多様な発生が増える可能性があり、より多様な判断、対応が求められますが、行政として最も大事にしていきたいことは。

A 農家の方々に寄り添い災害を乗り越え、農業を続けていただけたら、そういう気持ちを持っていただけたような取り組みを頑張っていく予定です。



農業用施設の被害も深刻

第1回臨時会

第1回臨時会が2月12日に開かれ、北秋田市阿仁郷土文化保存伝承館及び北秋田市阿仁異人館の指定管理者の指定についての議案と任期満了に伴う副市長の選任についての同意案の2件が上程され、それぞれ可決、同意されました。

阿仁伝承館及び異人館 指定管理者可決

北秋田市阿仁郷土文化保存伝承館及び北秋田市阿仁異人館の指定管理者の指定については、指定管理者に阿仁地区活性化推進協議会を指定するもので、管理運営期間は2019年4月1日から2024年3月31日までの5年間。

虻川副市長の再任に 賛成多数で同意

副市長の選任については、任期満了に伴い再任するもので、無記名投票の結果、賛成13票、反対6票の賛成多数により同意されました。同意後、発言を求めた虻川副市長は3期目の抱負を述べました。

議会全員協議会

統合で水道局を設置

第1回議会全員協議会が2月12日に開かれ「上下水道事業の機構改革と窓口業務委託について」の説明がありました。

当局によると「昨今、水道事業は水需要不足による料金収入の不足や老朽施設にかかわる更新費用の捻出といった問題を抱えており、持続可能な財政基盤を確立することが課題となっている。

このような環境下で、2019年4月の水道事業の公営企業法適用と2020年4月の下水道事業の公営企業法適用による経営統合を機に、より効率的な事業運営のために、組織再編を図るべきとの判断から民間委託を含めた組織再編案を策定したものと説明がありました。

窓口業務を民間委託

組織能力の向上を図るため2020年度より民間委託する業務概要は、窓口業務、料金算定、料金徴収、滞納管理を委託し、顧客対応を行うお客様窓口センターを宮前町庁舎に設置を予定するものです。

人事案件

3月定例会に人事案同意案件が追加提案され、次のとおり同意することに決定しました。

教育委員会委員の 任命について

◎佐藤 英樹 氏（新任）

固定資産評価審査委員の 選任について

◎梅井 繁司 氏（再任）
◎赤石 利法 氏（再任）

人権擁護委員候補者の 推薦について

◎中嶋 真知子 氏（再任）
◎福岡 史恵 氏（新任）
◎佐藤 ムツ子 氏（新任）

本会議の生中継や録画映像がご覧になれます

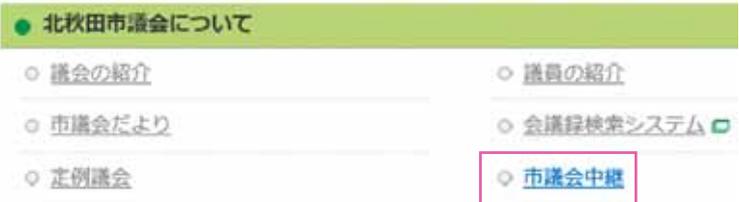
北秋田市議会では、市民の皆様が開かれた議会を目指し、3月定例会よりパソコンやスマートフォンからインターネットを通して本会議の生中継や録画映像が閲覧できるようになりました。

①〔北秋田市ホームページ〕



①北秋田市議会をクリック

②〔市議会のページへ〕



②市議会中継をクリック

③〔議会中継のページへ〕 ③再生をクリック（本会議の生中継がご覧になれます）



市議会へのご意見をお寄せください

「市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆さんのご意見を募集しています」

- 対象 市内在住者又は通勤通学している人
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392 秋田県北秋田市花園町19番1号
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845



世界から見た「きたあきた」

北秋田に来てから5年目になります。日本舞踊を3年間習っています。日本の文化や音楽、生活や言語（特に北秋田市）は面白いなと思います。JETプログラム（語学指導等を行う外国語青年招致事業）の任期が最長で5年ということで北秋田市に住むのは今年8月までで残念ですが、その後はアメリカに帰らずに青森市へ引っ越します！



日本舞踊



バージニア州ビーチ市



子どもの頃



バージニア州ビーチ市の桜

自己紹介



私の名前は「ドモニク」と申します。バージニア州バージニア・ビーチ市の出身です。バージニア・ビーチの公園では桜を見ることができ、3月には桜祭りも開催されます！アメリカに住んでいる多くの日本人が伝統的な日本のイベントを見にやってきます。

私は子どもの時、4年間家族と青森県三沢市に住んでいました。お母さんと日本人の友達に日本語と日本の文化を教えてもらいました。その後、アメリカに戻ってから色々な日本文化を楽しみました。アメリカでは日本語の合唱団に参加しましたし、学校の日本活動もしました。小学校の頃、将来の夢は作家になりたかったのですが、高校生の時は英語の教師にもなりたくなくなりました。それから大学では言語学と日本語を一生懸命勉強しました。

『表紙写真の募集について』

【募集内容】

北秋田市内で撮影した四季折々の行事や風景など「市議会だよりきたあきた」の表紙にふさわしい写真で、次のいずれにも当てはまるものを募集します。

- ①応募者本人が北秋田市内において、おおむね1年以内に撮影したもの。
- ②未発表のもの。
- ③2～4MBのデジタルデータ（JPG形式）で提供できるもの。

④人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。

⑤個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けたもの。

【応募方法】

応募用紙と応募写真をEメールに添付して御応募ください。詳細については、市ホームページ内の北秋田市議会「市議会だより」に掲載しております。

応募先メールアドレス
【gikai@city.kitaakita.akita.jp】

【応募期間】

年間を通して随時応募を受け付けますが、季節・時期等を感じる作品については、発行日の1カ月前までにお問い合わせします。

【発行日】

5月1日・8月1日
11月1日・2月1日



次の定例会と各常任委員会は「6月」予定です
市民の皆さまの傍聴をお待ちしています

各常任委員会の会場
総務文教（合川庁舎）
市民福祉（阿仁庁舎）
産業建設（森吉庁舎）

広報特別委員会
委員長 杉 潤
副委員長 三 浦
委員 佐藤 武 佐藤 虻 重光 藤田 光 倫 光 人 子 敬 美 弘